



誰が食べるか 森の恵み

私の分はあるかしら・・・



氷ノ山フィールドノート

響の森周辺・登山道の自然情報記録よりピックアップして紹介します。



エビベビー誕生！

5/24と7/3にエビの赤ちゃんが生まれました。企画展に合わせて増やした水槽で起こった奇跡に感動！！

シカが食べないものばかり

5/28 ヤマアイ
フタリシズカ
ハシリドコロ(実)

今年のカエルたち

6/3 モリアオ卵産み始め
6/11 今年の最高11個
7/18 現在、計63個
(今年は少なめ)
7/16 ワサビ谷でヒキガエル10匹
(安定の多さ)

花が咲いた♪

6/23 ウツボグサ
オカトラノオ
6/24 ハンショウヅル





好き！を続ける



小さい頃の川遊びの様子※1



世界最大級の両生類「オオサンショウウオ」



響の森のイベントで子どもたちが興味を持っている様子



夜間調査で発見されたオオサンショウウオ（現状変更の許可を得て調査）



研究者の協力を得て撮影[2012年8月23日 全長83.1cm、体重3810g、雄]※2・3
(現状変更の許可を取った調査への同行)

皆さんは、子どもの時好きだったことや好きだったものが、今でも好きですか？

私は、生き物、特にオオサンショウウオが大好きです。どれくらい好きかというと、小学生の時はほぼ毎日川に出向きオオサンショウウオを探し、オオサンショウウオのために高校や大学の進路を考えてしまうくらい好きです。これほどオオサンショウウオが好きになってしまったのには、きっかけとなる大きな出来事がありました。

私が小学1年生の時、地元である鳥取県の日南町で、オオサンショウウオという生き物の観察会がありました。その観察会は、夏休みの学校のイベント企画で、学校の友達十数人とその保護者で、夜の川にオオサンショウウオを見に行くといった内容のものでした。

当時の私は、今から何をしに行くかもわからないまま親に連れられ、観察会に参加しました。夜、小学校の友達と、網を持って川に入っていく…。非日常な状況にドキドキでした。観察会が始まってしばらくすると、「いたぞ!」とみんなの声がします。声のするほうに近づいていくと、そこにはとんでもない大きさの、茶色くヌメヌメとした生き物がいました。「こんなにも大きいのに、なんで私は見つけれなかったんだろう」と、不思議になるくらい大きな生き物でした。その強烈なインパクトで、私はオオサンショウ

ウオのとりこになってしまったというわけです。

ですが、あの時の衝撃のみが現在の「好き!」につながっているわけではなく、やはり身内、特に母の存在が大きかったです。

私の母は、オオサンショウウオに狂ってしまった私のとても良き理解者でした。母は、オオサンショウウオに対する専門的な知識はありませんでしたが、私に付き添って様々なところに行ってくれました。

オオサンショウウオの調査では、足場の安定しない川を長時間歩くことになります。専門家の先生と一緒に調査に行く場合も、小学生だったので保護者の同行が必要でした。オオサンショウウオの繁殖期である夏、胴長を着て川を何kmも歩きます。暑くて汗が滴る中でも、母はずっと調査に同行してくれていました。いつしか母はオオサンショウウオに詳しくなり、地元の「オオサンショウウオを守る会」の会員にまでなってくれました。

私の母は特に自然に詳しいというわけでもなく、自然遊びのスペシャリストというわけでもありませんでした。なぜあのような大変な思いをしてまで私の趣味に付いて回ってくれていたのか、少し気になったのでこれを書くにあたり改めて聞いてみると、「自然じゃなくてもいいんだけど、本物に触れるということをしてほしかった。ゲームやTVの世界だけじゃなく、見て触って空気を感じる体験を

川遊び中に発見した
オオサンショウウオ

※1・2 撮影：岡田 純
※3 オオサンショウウオは国の特別天然記念物です。許可なく捕獲・運搬することは禁止されています。



響の森インタープリターのイチ押し情報

わかさ氷ノ山自然ふれあいロード



響の森だより67号特集『イモリの溝を救え!』や70号『クルーの活動紹介』で取り上げた町道側溝を、環境保全のため響の森が管理することになり『わかさ氷ノ山自然ふれあいロード』と命名しました。響の森お立ち寄りの際は、ちょっと足を伸ばしてみてください。

Highly Recommended



クルー活動紹介

※クルー：響の森ボランティア

6月～8月の活動内容

- 初夏の植物観察 お手伝い(3)
- 魚採集[響の森魚部](6)
- 水槽掃除(2)

()は延べ人数



水路での魚とりの様子(米里)

クルーを随時募集しています!
お問い合わせ・登録はお気軽に響の森まで!

響の森魚部活動「魚とり」

クルーの皆さんと鳥取県東部の川をめぐり、夏の企画展用の魚を捕りに行きました。水路で網に入ったのは狙っていた小さなナマズ! そのほかにも、ウキゴリやシマドジョウが採れ、展示を彩ってくれました。館内の水槽を見ると夏の暑さも和らぎ、癒し効果抜群でした。

Activity Report

あんなこと、こんなこと



夏の企画展

7/16(土)～8/28(日)



国立科学博物館の巡回展「日本の生物多様性とその保全」と鳥取県や響の森での取り組みを紹介。またエントランスホールでは鳥取県東部の川魚を展示。入館するなり子どもたちが水槽にかぶりついてギンブナやカマツカ等をじっくりと見ていたり、職員手作りの「おさかなすくい」や「魚つり」に挑戦したりして好評でした。



木の自由工作

7/17(日)



響の森で集めた木の枝や木の実を自由に使って、お客様の好きなものを作る工作コーナーを開催しました。響の森で行う創作体験の多くは、響の森周辺で拾った自然物を使用します。その中には形状が特殊だったりして、なかなか使われないものもあるのですが、子どもたちの感性は、それらを素敵なお品へ変身させていました。



親子自然研究クラブ「磯の生き物観察」

7/30(土)



今年は波無し、透明度良しの絶好のコンディションでした。今までで一番の種数で、カゴカキダイやイシガキダイ、ハコフグ幼魚など南方系の魚も色々見ることができました。講師の先生によると海の中も温暖化が進んでいるそうです。また、増えすぎたウニが海藻を食べてしまうので、深刻な問題になっているそうです。ふるさとの山も海ももっと知って守っていきなと改めて思いました。

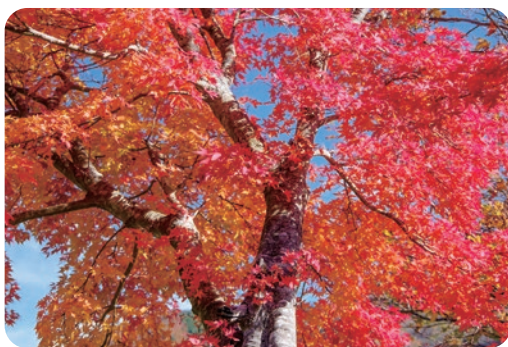
イベントカレンダー 2022年 9月～11月

たくさんのご参加、お待ちしております！

9月	3日(土) 10/30日(日)	いつでも作れるコーナー ・キノコのキーホルダー	土日祝のみ
	10日(土)	遠見山に登ろう	
	11日(日)	親子自然研究クラブ 「フローラルウォーターづくりに挑戦」	
	17日(土) 19日(日)	生地から作るスネークパン	
	24日(土)	親子で登る氷ノ山	
	25日(日)	森のようちえん+(プラス)	

10月	1日(土) 11/23日(日)	秋の企画展 「宮崎学動物写真展」	
			
	8日(土)	秋の特別企画 「宮崎学ギャラリートーク」 時間／ 11:00～11:30 15:00～15:30 定員／各回15名	
		「宮崎学スライドトーク」 時間／ 13:30～14:30 定員／ 30名	無料 事前申込優先
	8日(土) 10日(日)	わかさ氷ノ山・山フェス	
	9日(日)	親子自然研究クラブ 「ザトウムシを観察しよう」	
	16日(日)	スペシャル観察会 「キノコの観察」	
	23日(日)	紅葉の扇ノ山登山	
	30日(日)	森のようちえん+(プラス)	

11月	3日(木) 12/25日(日)	いつでも作れるコーナー ・クリスマス飾りづくり	土日祝のみ
	3日(木)	森のようちえん+(プラス)	
	6日(日)	大人の森のようちえん	
	12日(土)	親子自然研究クラブ 「巣箱調査」	
	13日(日)	たき火で焼き芋ワークショップ	
	27日(日)	手仕事講座「味噌づくり」	



Recommended Books 森のオススメ本

森の不動産屋

森の中で不動産屋を営むクマのムーと、ウサギの一家とのやり取りを描いた作品です。実はこの絵本の舞台は氷ノ山で、当館にも取材いただきました。非売品ですが、当館図書コーナーに置いてありますので、是非読んでみてください。



【文】小西麦歩 【絵】さとめぐみ
【発行】株式会社神戸製鋼所

コベルコ森の童話大賞 金賞受賞

※子ども向け「森」の童話コンテストで、金賞受賞の作品に絵本作家が挿絵を制作し、絵本にしています。

<https://www.kobelco.co.jp/mori-ohanashi/>

Information

イチ押しイベント

たき火で焼き芋 ワークショップ



肌寒くなってくるとたき火が恋しくなりません。たき火があるとイモを焼いて食べなくなる。これぞ「食欲の秋」。ただし、単に焼き芋が食べられるイベントではありません。ライターを使わずたき火を起こすにはどうすれば良いか、皆さんで考え、工夫してもらいます。苦労したたき火で暖まる達成感! 自分で作ったアツアツ焼き芋のおいしいこと!! さあみんなで行ってみよう。

お問い合わせ TEL (0858) 82-1620



(一財) 鳥取県観光事業団

〒680-0728 鳥取県八頭郡若桜町つくよね635-175

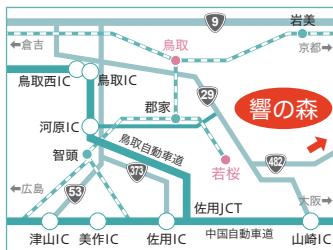
TEL (0858) 82-1620 FAX (0858) 82-1612

[E-mail] info@hibikinomori.gr.jp

[HP] <https://www.hibikinomori.gr.jp/>

開館時間／午前9時～午後5時

	4月～9月	10月・11月	12月～3月
月曜日	月曜日	月・火曜日	月・水曜日
夏休み	夏休み	夏休み	夏休み
期間中は無休	期間中は無休	期間中は無休	12/29～1/3
祝日の場合は翌日休	祝日の場合は翌日休	祝日の場合は翌日休	祝日の場合は翌日休



編集後記

冬は大雪、夏は猛暑。秋の紅葉、色づきはどうか? (高橋) 20年以上使っていた公用車がついに新しくなりました。MT、オモステ、手動ウィンドウ、思い出をありがとう。(岡田) 魚を捕って捕って捕りまくった夏が終わってしまった。秋も捕れるまで捕るぞ。(佐々木) 食欲の秋にかこつけて食べまくりたいと思います。焼き芋やキノコ、秋刀魚なんかおいしいですね。(實延)